

1862

# 海軍公報（部内限）號外

昭和十八年九月二十二日（水）

## 海軍大臣官房

### ○辭令

○昭和十八年六月十六日

海軍少佐 帆足 工

敍從六位

敍從七位

海軍大尉 本内 達雄

○昭和十八年六月二十日

海軍少尉 狩野 末吉

敍正八位

○昭和十八年六月二十三日

元海軍拔師 末松 茂

○昭和十八年六月二十四日

敍正五位（特旨ヲ以テ位一級被進）

○昭和十八年六月二十五日

敍正八位

○昭和十八年六月二十五日

敍正八位

○昭和十八年六月十五日

海軍少尉 井上 季

敍正七位

○昭和十八年六月十四日

海軍大尉 中山七五三松

敍正六位

○昭和十八年六月十五日

海軍少尉 畠義雄

敍正八位

海軍公報（部内限）號外

1863

海軍公報（部内限）號外

○昭和十八年六月二十六日

敍從六位  
海軍少佐 戸次保雄

○昭和十八年六月三十日

（各通） 海軍大佐 井上左馬太

敍從四位（特旨ヲ以テ位一級被進）

○昭和十八年七月一日

海軍少尉 宮嶋喜作

海軍豫備少尉 江川良夫

同 長頭忠雄

海軍少尉 東郷英二

海軍少尉 繪谷仁一

海軍少尉 久世真澄

海軍少尉 黒川英一

海軍少尉 弘中健一

海軍少尉 佐野寅生

同 豊谷繁雄

同 口口良一

同 中島宏士

同 岩崎要士

同 藤原質

中之薦郁夫  
道家康之助

土岐直正治  
石川一郎

杉田高志  
上浦鼎

中原隆人  
未廣海

櫻井五郎  
根弘申

関芳武雄  
江英一

杉靜仁  
山英一

黑川久世  
田久世

中西仁  
佐野良一

西山健一  
東泰勝

仁英一  
義造

小久保俊雄 大森良夫 寺口廣數 工藤宙成 諸橋清隆 山本靖二 石井正治 佐藤充邦 小林強太郎 歴義一郎 浅田通夫 藤田達也 蝶野勇鳳 伊藤祐一郎 金子俊明 伊藤義靖 伊藤茂大 武居大友 郁井上哲夫 濱野哲收

(各通)

横田吉雄 中田剛司 山崎春之 裴信一  
粕谷幸太郎 鈴木三郎 前田一恭 滝山八郎  
大田金一 岡田精之 佐藤忠次 森山民區  
小杉照治 濱野健二 井上國四郎 西兵一  
田中利穂 加賀清美 宮保松一 井手康彦

1864

海軍公報（部內限）號外

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同  
海軍豫備少尉 関口政弘 佐久木敏夫 池田昌正人  
細川下谷 遠藤金吾 加山田龍夫 赤坂眞通 佐伯舜介  
福田富二男 福宗像 原益雄 清次昇 佐伯舜介  
本安西 木末廣次 佐伯舜介 佐伯舜介  
本鄉六郎 明夫 夫國六郎 久彌守  
宮崎金子 久彌守 千壽高行

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

片岡資郎 佐々木久矢吹亀藏  
村岡四郎 經田俊雄 濑野英太郎  
梁田忠夫 佐藤愛生 橋本一夫  
福田政之 村上博之 石川純一  
大島正明 中原正清 大谷順三  
萩原勲 畠本聰臣 岡本五百藏  
常盤芳盛 黒川益雄 者岡修自

1865

○昭和十八年七月三日	同	森下洋一郎	谷本伊三七
○昭和十八年七月六日	海軍理事官	佐藤五十吉	吉井勝男
(各通)	海軍中將	桃島節雄	森下洋一郎
	同	小林徹理	谷本伊三七
敍正四位(特旨ヲ以テ位一級被進)	同	鈴木久武	吉井勝男
(各通)	海軍少將	上田儀右衛門	谷本伊三七
敍正四位(特旨ヲ以テ位一級被進)	海軍主計少將	水野英一	吉井勝男
敍從四位(特旨ヲ以テ位一級被進)	海軍技師	渡邊佐助	谷本伊三七
敍正六位	道財道助	新造	吉井勝男
○昭和十八年七月九日	元海軍技師	鈴木	吉井勝男
敍正五位(特旨ヲ以テ位一級被進)	道財道助	新造	吉井勝男
敍正八位	同	坂本泰二	吉井勝男
(各通)	海軍少尉	山邊高陽	吉井勝男
○昭和十八年七月三十日	同	乾泰一	吉井勝男
敍正六位(特旨ヲ以テ位一級被進)	海軍大尉	柴田光夫	吉井勝男
(各通)	海軍少尉	前平守	吉井勝男
敍正七位	同	坂本泰二	吉井勝男
敍正八位	同	坂本泰二	吉井勝男
○昭和十八年七月十四日	海軍大佐	田嶋英夫	吉井勝男
敍從四位(特旨ヲ以テ位一級追陞セラル)	海軍理事官	浪花幸	吉井勝男
○昭和十八年七月十六日	海軍中佐	萩原健二	吉井勝男
敍正七位	海軍大尉	鈴木秀太郎	吉井勝男
○昭和十八年七月二十日	海軍大尉	鈴木秀太郎	吉井勝男
敍從五位(特旨ヲ以テ位一級被進)	海軍大尉	鈴木秀太郎	吉井勝男
敍正六位(特旨ヲ以テ位一級被進)	海軍大尉	柴田光夫	吉井勝男
(各通)	海軍少尉	山邊高陽	吉井勝男

1866

海軍公報（部内限）號外

六

○昭和十八年八月二日

海軍少將 久保 九次  
友成 佐市郎

(各通)

同 同 同 同 同 同  
下坊 定吉

敍從四位

同 同 同 同  
西村 祥治

(各通)

海軍技師 小副川 要作  
本村 由三

敍從五位

同 同 同 同  
大畠 宇治郎

(各通)

海軍司政官 河合 宗治  
吉岡 恒夫

海軍教授

同 小林 清八郎  
濱村 渡邊 桂三

海軍技師

同 雅真言  
男 富一  
塙 丹羽 賢次  
木精太郎

宮井 忠藏  
光勢 真一  
下村 嘉暢  
東方 一二

吉田 忠一  
山口 秀夫  
松倉 武雄  
永野 德志

吉賀 米作  
齋藤 七五郎  
横田 清綱  
杉木 實作  
後藤 青秋

安田 千代次  
高瀬 良次郎  
溝口 三雄  
安田 鳴三  
今村 保男  
御井 要作

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同  
安島 保男  
嘉一郎

1867

敍正六位

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同  
山本 實三郎 太田 善一郎 黒田 正典 百木 健  
梅谷 重三郎 村上 富司 關 茲作 河合 次男  
小山 中三郎 尾崎 達太郎 山中 三郎 捷  
清水 三郎 成田 利夫 松尾 孝 安田 忠七  
神阪 三郎 今井 繁文 飯野 實 譲得久 朝昌  
同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同  
大貫 和一 六角 留藏 柿島 民堂 進  
稻木 邦夫 吉松 捷五郎 村上 宗雄  
河村 鈴木 敬信 正隆 高健一 宇野 昌一  
内山 歌代 下村 厚井 幸一 厚井 新一  
河村 宮田 康一 厚井 高義 幸一  
繁 繁 一 繁 一 繁 一 繁 一 繁 一  
敬 信 一 高 健 一 高 健 一 高 健 一 高 健 一  
和 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一  
留 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一  
藏 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一  
民 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一  
堂 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一  
進 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一  
海軍教授 海軍技師

1868

（各通）

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

海軍技師 新倉佳之輔

福田古山有藤福小永檜大松山田片稻石井垣伊太郎  
井中賀口吉森岡林野和田里見羽中江星兼晴之助  
經春光嘉金幹三虎信實佐一兵初  
彦男郎吉太三郎雄夫歲一十吉男穎良輝之

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

林川新田加阿梅松榮前大岡風宇米島藤石柴山  
崎羅中藤部原波木川津田間永田本橋川田中  
武種一十、一太信一義憲嘉雅福重傳康  
治一郎三啓郎郎雄先力德政淳嚴勝觀勳次吉吉資

1869

敍從六位

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 海軍

海軍司政官

海軍理事官

同 同 同 同

岡本牧山幸彌  
 田原口長久  
 永廣武信  
 曲淵逸二  
 藤中條掛藤  
 木下正男  
 青木誠一  
 高阪庄次  
 黑田吉  
 濱中村  
 武田桂  
 齊藤明  
 難波雄  
 伊藤透  
 松江敏  
 今泉博  
 木領造  
 本定首  
 一郎已  
 一圓明  
 一  
 一

同 同 同 同 同 同 海 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 海

軍技師

海軍教授

塙木小松道雄  
西田保治  
早川七之助  
金丸定一  
宮崎克己  
熊本實  
大島瀨  
廣田伯郎  
丹羽智夫  
田畠敏雄  
北澤喜郎  
岡村英二  
志村井  
石井一雄  
相馬富次男  
馬場憲治  
平田丈太郎  
吉川忠

1870

(省通)

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 海軍技師  
坂 近 清 長 田 黒 木 藤 谷 藤 落 長 谷 橋 村 川  
木 藤 水 鳴 中 川 崎 井 島 田 合 下 河 東 小 川 織 烂 由 重 光  
達 健 劳 三 寶 忠 常 靜 春 義 由 重 太 郎 俊 清 裕  
昇 貞 英 茂 濟 一 雄 郎 郎 夫 弘 音 方 乙 一

敍正七位

同 同 同 海 軍 理 事 官 同 同 同 同 同 同 同 同 同  
同 同 海 軍 編 修 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同  
飯 杉 山 山 草 弘 大 小 堀 山 藤 高 矢 榊 宮 中 山  
島 山 嶺 日 場 中 上 西 村 野 田 井 橋 野 鷹 雄 繁 雄  
正 可 啓 龜 正 增 广 力 中 村 忠 博 詞 武 志 七 郎  
義 勝 爾 譲 之 助 豪 藏 介 井 幸 進 博 詞 武 志 七 郎  
正 男 夫

1871

1872

海軍公報(部内限)號外

海軍司政官

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 海軍司政官  
 松上林赤兒石桃金兒石下國山中和林菅宮兵演廣橋  
 田羽木玉塚野子玉本村本本牟田藤地井好  
 升秀繁俊謹堅壽杉太重加猛清正任  
 友義男治義男夫雄平作雄郎一藤健憲晃茂清入任

(各通)

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同  
 同 同 同 海軍教授  
 增天春若近國高荻田野上平玉坂高阪鈴和森  
 田川名松藤吉橋原崎田萬谷本木田幸武恒輝  
 京次郎忠定重大真太萬青三郎薰規包司男章雄  
 勇治道次義繁稔剛千郎清

1873

海軍公報（部内限）號外

海軍教授  
海軍技師

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 海軍教授  
大堀 藤吉 山山 平平 吉山 柳西 宮宮 石鯨 加綱 中島  
和内 井田 日高 野井 村本 嶋村 井川 田内 田井 藤井 島島  
忠俊 英秀 重福 一 初祐 忠謙 貞敏 敏憲 源太 鈴木 桦一 恒逸  
雄治 雄一 三一 雄勝 寛一 助二 勝二 則二 郎吉 一夫 美

敍從七位  
○昭和十八年八月四日

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同  
海軍理事官 中桑 一今 下小 關根 梶原 加中 谷滿夫  
田 戸泉 吉川 里野 島根 治高 治 满  
三三義忠 一鐵 芳克 潤房 已淘  
寛寛平郎 夫一男 男一房 已淘

海軍少將 山嶋 助一  
敍從四位（特旨ヲ以テ位一級追陞セラル）  
○昭和十八年八月五日

海軍技師 神野 茂三郎



1875

清軍公報（割限）號外

海軍大佐

鹿目善輔

今和泉喜次郎

杉本丑衛

谷本計二

篠田太郎八

島崎元

高橋利

野元輝

橋健

西山惠

野久山

長島早

木吉

鈴木輝

佐藤春

赤坂比奈

落合

指宿

佐佐木

州德克

秀精

雄治

(各通)

一四

秀實

正人

克郎

貴一

次

山

島

高

外

申

常

木

次

千

是

宮

木

箕

赤

梅

柄

湯

清軍公報（割限）號外

1876

海軍公報

1877

海軍公報（部內限）號外

(各通)

海軍主計大尉  
海軍中尉  
海軍司教官

海軍司政官  
海軍技師  
川合 津  
居村 茂德

敍從六位

海軍中尉	山本 錢太郎
川村	平林 真一
川村	石川 清作
木村	大波 亮
木村	木村 七郎
木村	木村 秀次郎
椎塙	熊久保 正衛
八木橋清三郎	椎塙 直
山西	山西 一三
大西	大西 光三
金原	金原 守人
地下	地下 雪二
田川	田川 葵藏

(各通)

本村友重  
秋吉竹次  
田中興惣二  
中馬武夫  
濱田金光  
藪繁太郎  
檜山壘  
武政八十馬  
佐藤慶治郎  
高橋正雄  
藤原仙次郎  
田中外吉  
吉田初治  
本池儀三郎  
柿本傳次郎  
松下義男  
志田健次  
泉浦悌悅  
大淵重夫  
黒木森  
石田守人

- 1878

敍正七位

海軍衛生中尉	同	海軍主計中尉	同	海軍司政官	同	海軍技師	同	海軍技師	同	海軍司政官	同	海軍主計中尉	同	海軍衛生中尉											
小岩庄造	平田寛夫	守屋芳三	村木連治	遠藤歡一	沼倉武治	加藤繁太郎	大日方秋男	角谷久五郎	栗澤博勝	白倉昌男	松岡愛己	永田正一	太田精一	德永金正	河野弘興	鵜殿元一	永田正	見砂直輝	松岡愛己	海軍司政官	同	海軍主計中尉	同	海軍衛生中尉	
造	夫	三	木	遠	倉	繁	日	谷	澤	倉	岡	田	田	永	河	鵜	永	見	松	海軍司政官	同	海軍主計中尉	同	海軍衛生中尉	
造	夫	代	本	藤	武	太	方	久	博	昌	愛	田	田	永	野	殿	元	砂	岡	岡	海軍司政官	同	海軍主計中尉	同	海軍衛生中尉
造	夫	一	連	歡	治	加	秋	五	勝	昌	己	正	正	金	弘	元	直	直	松	松	海軍司政官	同	海軍主計中尉	同	海軍衛生中尉

(备通)

同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同

加藤周幸 柴田 周幸  
小川英一郎 渡邊市郎 國塙 和田 雅  
高橋好幹 高橋通正 牧田 繁  
岡田康雄 吉野守正 堀川九一 福本嵩  
伊東正夫 松瀬經男 副島熊雄 上田吉原留次郎  
藤太郎 前川澄男 延山儀八



# 海軍公報（部内限）號外

昭和十八年九月二十二日（水）

海軍大臣官房

## ○ 通牒

軍需機密第577號ノ三

昭和十八年九月二十一日

海軍省軍需局長

各海軍軍需部長殿  
各特設海軍軍需部長殿

艦營需品供給停止、供給制限、代用品利用及規格低下ニ關スル件中追加ノ件申進

昭和十八年八月二十六日軍需機密第577號ヲ以テ申進ノ首題ノ件中左ノ通追加セラレ候條了知相成度

記

主 管 别	區 别	品 名	記
主 計 長	備 品	鏡	
"	"	同	
"	椅	大	同一品名ニシテ既發付ノ通牒等ト記事欄相違ノモノハ本
"	子		號ニ依リ處理ノコト以下同斷
"	覆		
"	甲		
			姿見

1880

海軍公報（部內限）號外

1881

主 管 別	供 給 制 限 品										備品ニ準ズ 事記
	主 計 長	備 品	水 注 小	ソ ッ ク ア 皿	匙	洋 ナ イ フ 大	匙	洋 ナ イ フ 大	匙	洋 ナ イ フ 大	
紅 茶 匙	紅 茶 匙	紅 茶 匙	砂 糖 壺	紅茶コーンヒー瓶	フ オ ー ク	洋 ナ イ フ 大	匙	洋 ナ イ フ 大	匙	洋 ナ イ フ 大	將官室用其ノ他ハ供給セズ
茶 匙	茶 匙	茶 匙	碗	大	大	大	大	大	大	大	同艦船准士官以上寢室用トシ其ノ他ハ供給セズ 同一品名ニシテ外本號既發付ノ通牒等ト記事欄等 依ルノ外本號ニ依リ處理ノコト以下同断ノモノハ同 事記
匙	匙	匙	匙	匙	匙	匙	匙	匙	匙	匙	同上

士官室以上用其ノ他ハ供給セズ

1882

主計長備品	薬味入鹽壺	將官室以上用其ノ他ハ供給セズ
主管別區別品	セリーダラス	
代用品使用又ハ規格低下		
記		
主計長備品鏡	小	寢室用ハ現制ノ約二分ノ一大、共用ハ現狀通トシ當分ノ間供給區分欄ノ一陸ヲ除ク同一品名ニシテ同一品名ニシテ既發付ノ通牒等ト記事欄相違ノモノハ同號ニ依ルノ外本號ニ依リ處理ノコト以下同断
主計長備品印	丁	片袖其ノ他ヲ廢シ艦營需品標準圖( )内ノ寸度ノミトス
主計長備品圓形飯蒸釜	内地陸上部隊ノ一部ニ炊飯桶(木製)ヲ併用ス	至一〇八立
食器食器配食器卓匙	アルミニウム又ハ木製	内地陸上部隊ノ一部ニ木製桶使用ス
食器碗皿	内地陸上部隊ハ陶磁器製其ノ他ヲ主用ス	

1883

"	"	"	"	"	"	"	"
貸 與 品	連 續 洗 米 機	萬 能 調 理 機	一部木製品ニ轉換				
〔甲〕	類						
備品ニ準ズ							

1884

1885

(部内限)

# 海軍公報

(部内限) 第四千五百號

昭和十八年九月二十三日(木)

## 海軍大臣官房

### ○通牒

經豫第三號ノ二二一

昭和十八年九月二十一日

海軍省經理局長

關係各支出官、資金前渡官吏殿

俸給等支辨科目ニ關スル件通牒

當分ノ間昭和十八年勅令第百三十七號各廳職員優遇令ニ依リ昇格シタル職員ノ俸給支辨科目ハ左記ノ通ト了知相成度

一 奏任官ニシテ勅任ノ優遇ヲ受クル者ニ在リテハ奏任俸給

二 判任官ニシテ奏任ノ優遇ヲ受クル者ニ在リテハ奏任俸給

三 履員ニシテ優遇ニ依リ判任官ノ待遇ヲ受クル者ニ在リテハ履員タリシトキノ當該科目タル俸給等

### ○辭令

(参照) 本年三月二十日官報

第三課兼第一課勤務ヲ命ス(九月海軍省軍需局)

海軍主計大尉 福田 實

第一百一海軍燃料廠ニユーニヤ油田調査開發隊ニ要スル給與及其ノ他ノ経費支拂ノ爲艦隊経費分任出納官吏ヲ命ス

右同分任出納官吏ヲ免ス(以上九月支辨官 海軍省經理局長)

### ○雜款

○潛航術練習生及下士官兵潛水艦講習員入校ノ件  
十月一日以後首題左記ニ依リ取計相成度

1886

海軍公報(部内限)第四千五百號 昭和十八年九月二十三日

一〇二二

種別	入校場所	記事
潜航術各種練習生	大竹本校	大竹本校ハ山陽
下士官兵潜水艦講習員全部	吳分校	本線大竹驛下車

追テ第四十九期潜航術各種練習生入校期日ハ十月一日ニ付爲念

(海軍潛水學校)

○事務開始  
大湊海軍軍需部幌筵支部ハ九月一日占守島ニ於テ事務ヲ開始セリ

驅逐艦濱波艦裝員事務所ハ九月十五日舞鶴海軍工廠内ニ於テ事務ヲ開始セリ

横須賀海軍施設部名古屋支部ハ九月二十一日愛知縣豊川市假事務所ニ於テ事務ヲ開始セリ

本日暗送公報第九號發行ス

1887

海軍公報（部内限）號外

○懲罰

昭和十八年九月二十三日（木）  
海軍大臣官房

海軍公報（部内限）號外

（限 内 部）

1888

海軍公報（部内限）號外



1889

海軍公報  
(部内限)  
號外

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

1890

海軍公報(部内限) 號外

四

1891

海軍公報（部内限）號外

五

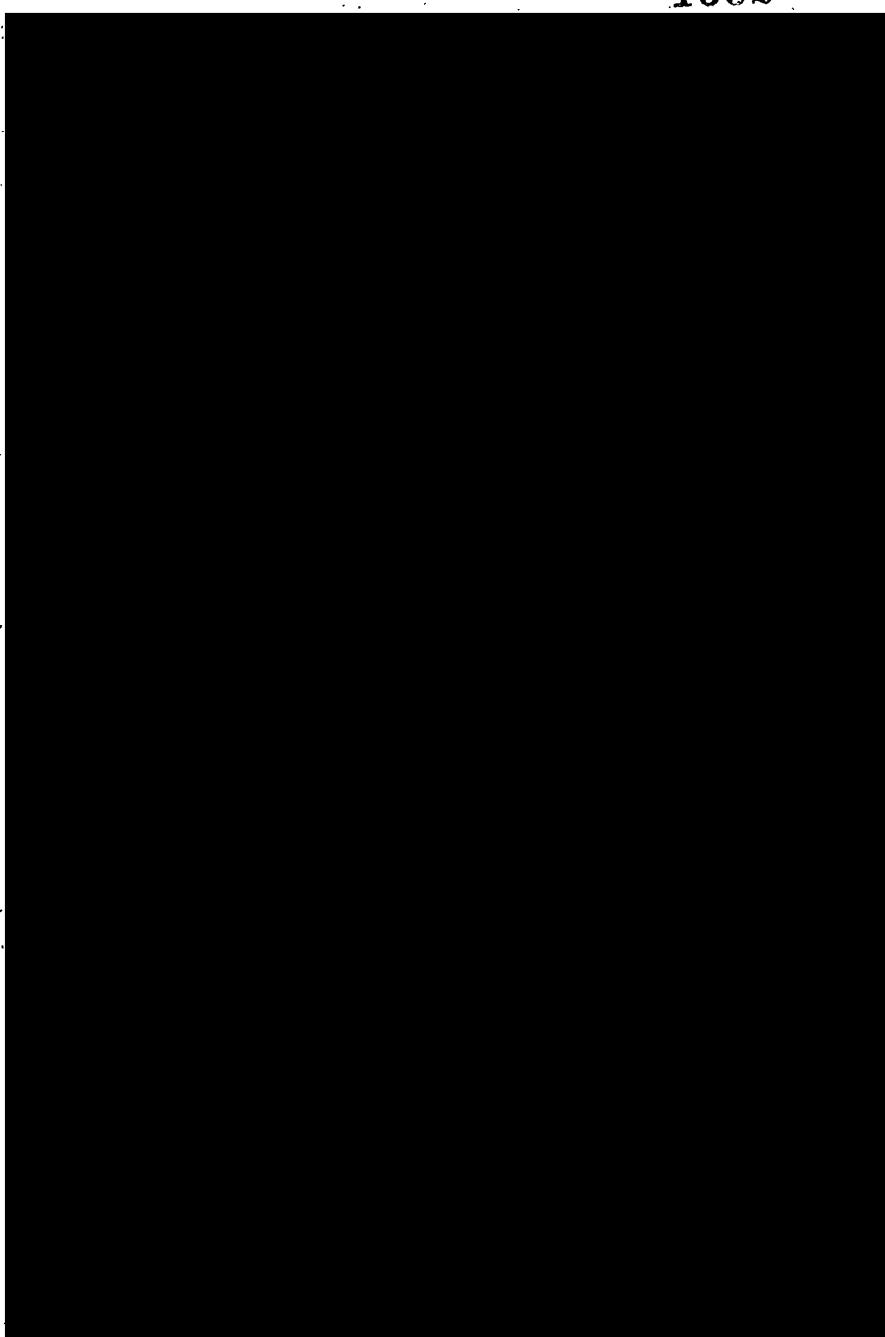
国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

1892

海軍公報（部内限）號外



1893

海軍公報  
(部内限)

號外

七

1894

海軍公報（部内限）號外

八

1895

海軍公報  
(部内限)  
號外

九

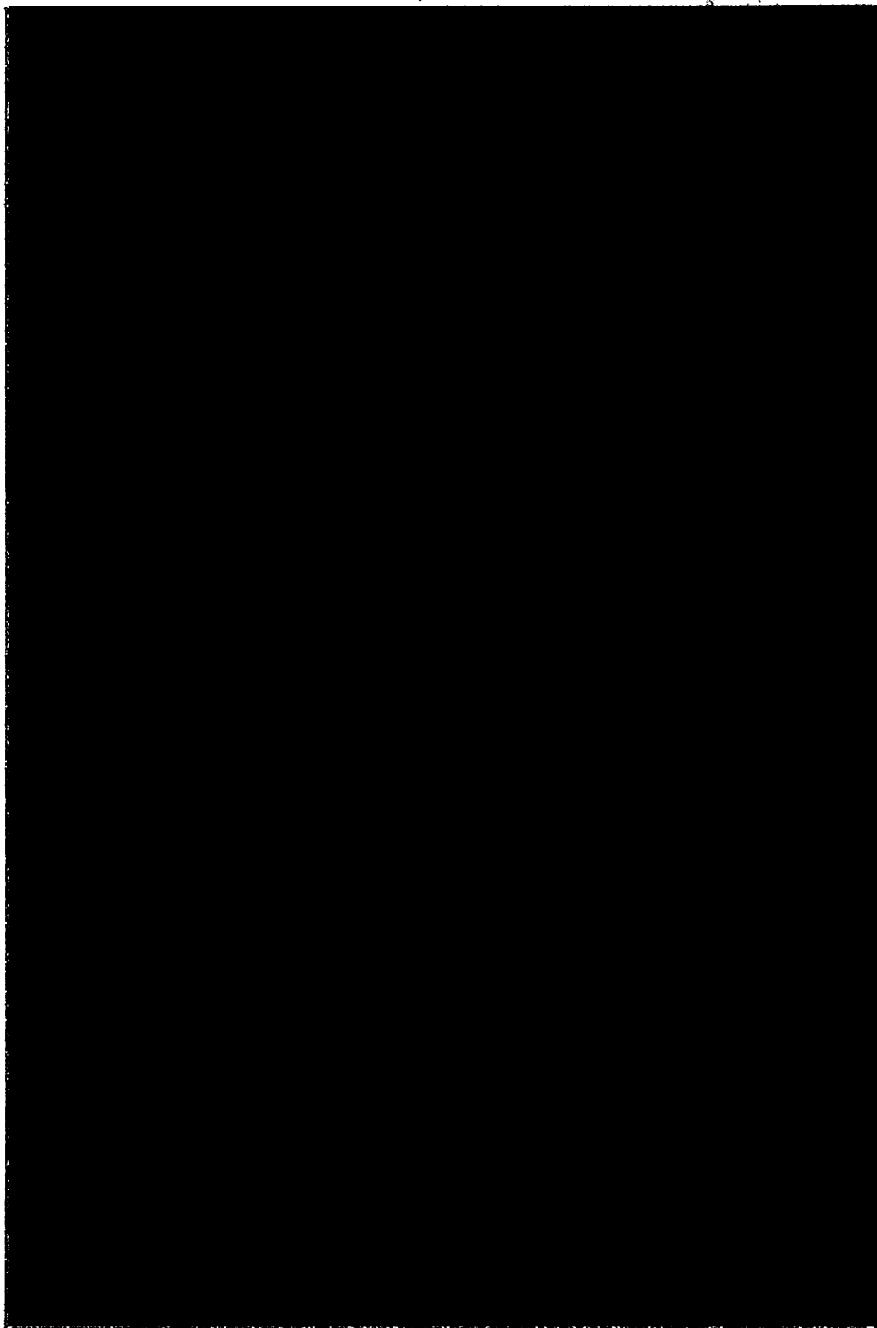
国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

1896

海軍公報  
(部内限) 號外



1897

海軍公報  
(部内限) 號外

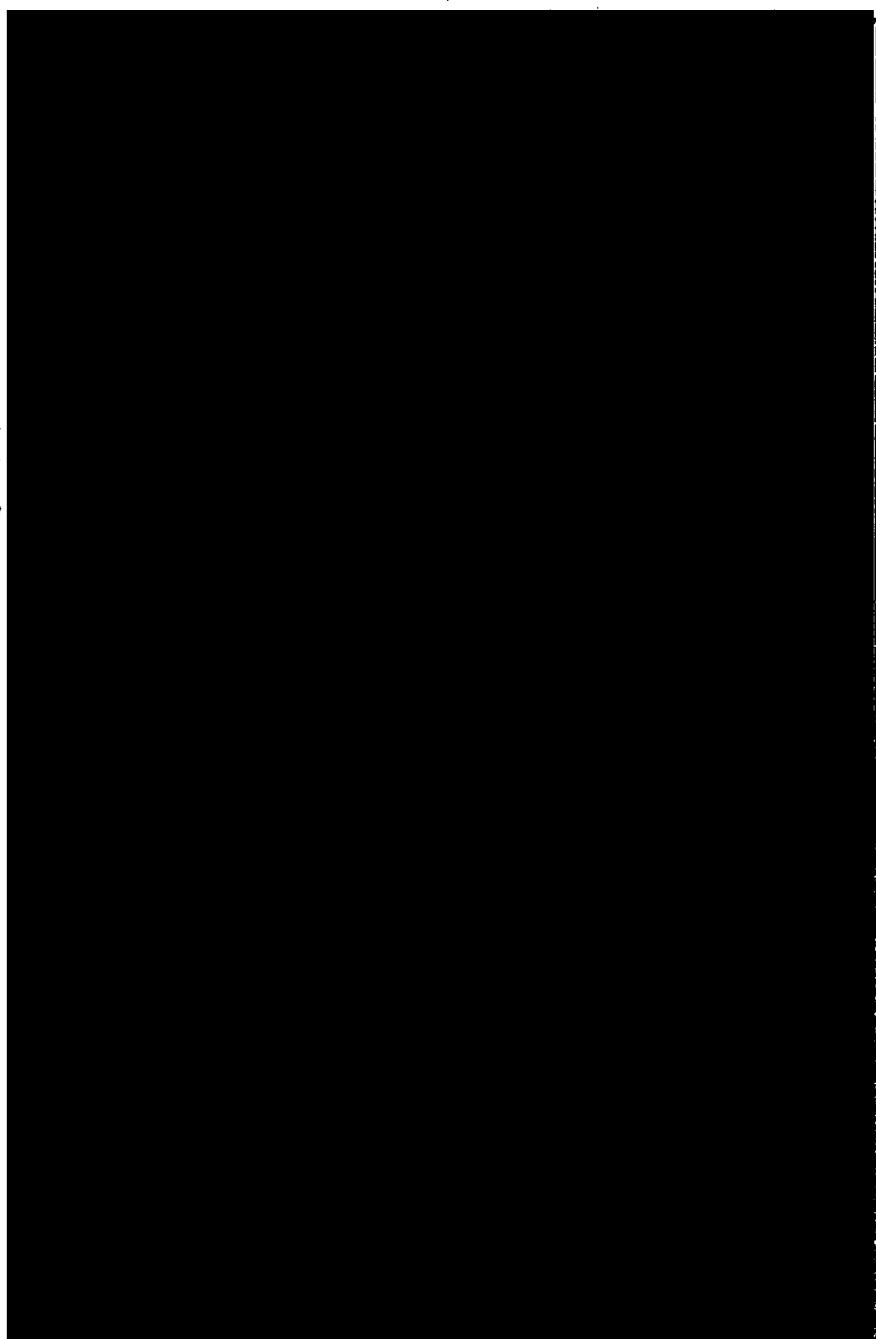
国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

1898

海軍公報（部内限）號外



1899

海軍公報（部内限）號外

三三

1900

海軍公報（部内限）號外

一四



1901

海軍公報（部内限）號外

一五

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

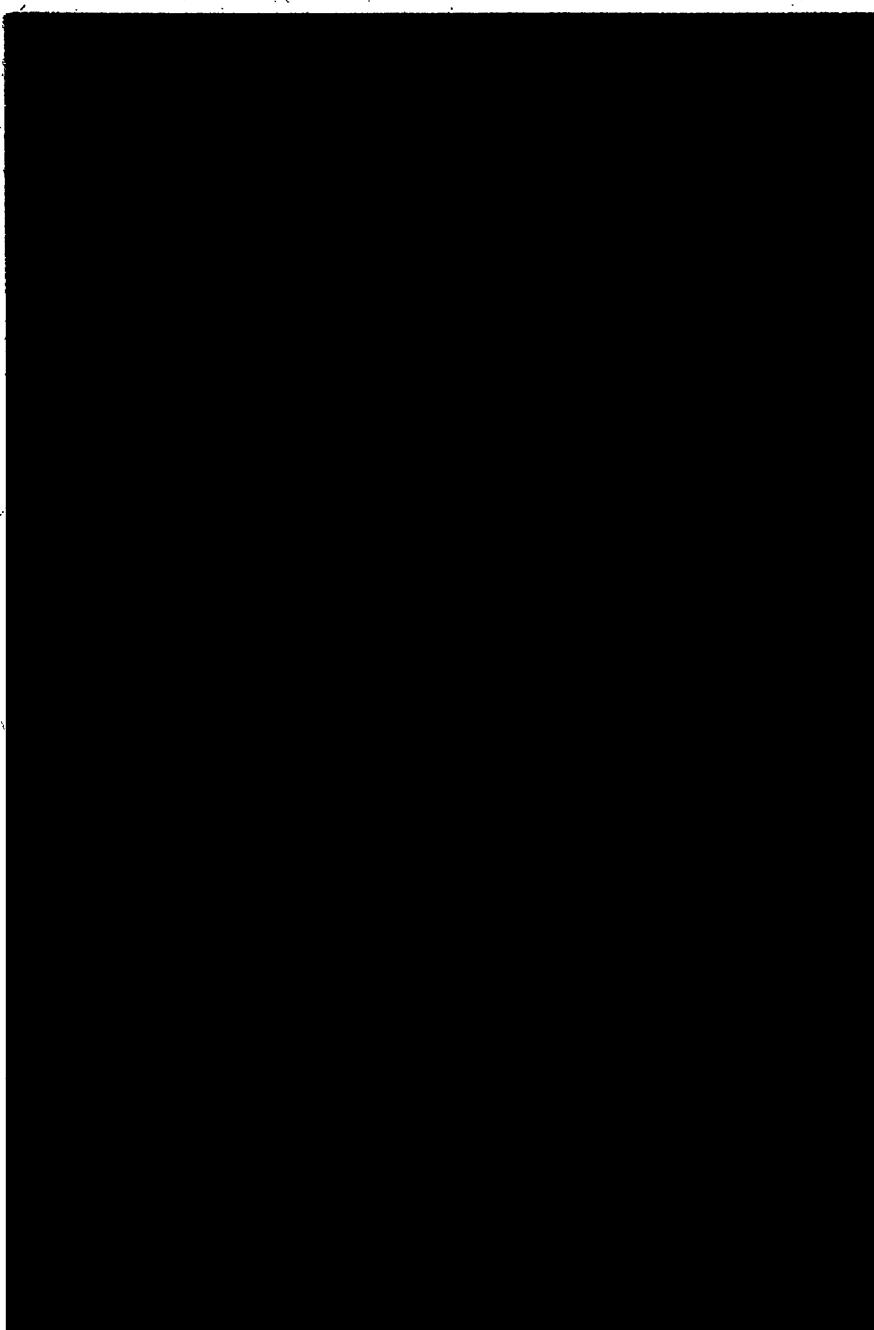
<http://www.jacar.go.jp>

1902

海軍公報（部内限）

號外

二六



1903

海軍公報（部内限）號外

一七

国立公文書館 アジア歴史資料センター

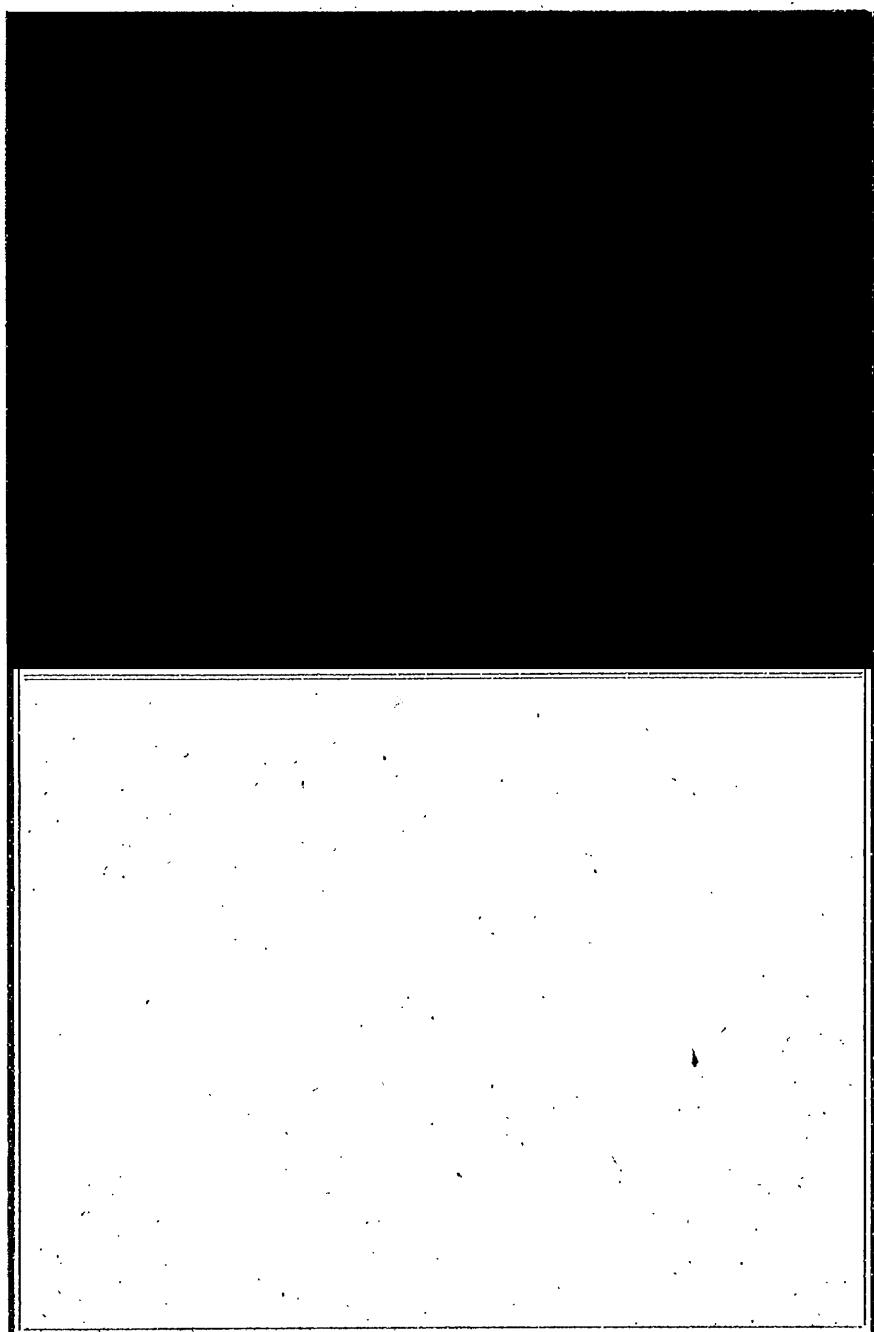
Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

1904

海軍公報（部内限）號外

一八



1905

# 海軍公報（部内限）號外

昭和十八年九月二十三日（木）

## 海軍大臣官房

### ○郵便物發送先通知（宛先ハ下段ノ通記載ノコト）

#### ○艦船ノ部

一 摩耶、天津風、初風

横須賀局氣付（軍事郵便）摩耶、天津風、初風  
吳局氣付（軍事郵便）龍田

一 龍田

一 舞子

一 南西方面艦隊司令部

佐世保局氣付（軍事郵便）舞子  
同 「イ貳〇 セ貳〇」

#### ○陸上ノ部

一 第三十一衛所隊

横須賀局氣付「ヲ壹〇五 オ貳六九」

一 第三三一航空隊

佐世保局氣付「イ貳參 イ四五」

一 香取航空基地

千葉縣匝瑳郡共和村 香取航空基地

一 第七警備隊

吳海兵團内「セ六五」

一 新竹海軍航空隊高雄分遣隊（假稱）設立準備事務所

橫須賀局氣付「ヲ壹〇五 オ貳六九」

一 烏取海軍航空隊（假稱）設立準備事務所

佐世保局氣付「イ貳參 イ四五」

一 備事務所

千葉縣匝瑳郡共和村 香取航空基地

一 高雄海軍航空隊內新竹航空隊高雄分遣隊設立準備委員長

吳海兵團内「セ六五」

一 烏取縣西伯郡大篠津村 烏取航空隊設立準備委員長

1906

海軍公報（部内限）號外

六〇

隊、司令、軍醫長宛  
主計長宛

天津風  
初風

各艦分離行動中ニ付 司令及各科長宛書類中各艦ニ  
關係アルト認メラル、モノハ各艦ニ寫直送相成度

（第十六驅逐隊）

○自七月二十七日至七月二十二日間當隊宛ノ郵便物ハ事故ノ爲亡失ニ付  
該當公用書類ハ至急再送方取計ハレ度

木更津ヨリ遠近ノ如何ニヨリ相違アルモ概ネ木更津  
局へ七月九日頃横須賀局へ七月二十四日頃迄ニ到着  
ノ分ヲ亡失セルモノト推定ス  
追テ當隊宛ノ郵便物ハ七月九日ヨリ以前ハ木更津航  
空基地氣付タ貳〇四、同日ヨリ以後ハ横須賀局氣付  
タ八四、タ貳〇四ニ有之爲念

（第五五二海軍航空隊）

○自八月一日至八月十日 内地發送ノ當隊宛郵便物ハ事故ノ爲亡失  
ニ付キ該當書類ハ至急再送ノ事ニ取計ハレ度

（第三監視艇隊）